

岩手大学農学部附属動物医学食品安全教育研究センター

令和5年度成果発表会 ならびに JRA畜産振興事業研修会のご案内

岩手大学農学部附属動物医学食品安全教育研究センター（FAMS）は、健康な家畜の生産から加工・流通を経て食卓に至るまで、いわゆるFarm to Tableで食の安全・安心を科学し、その成果を地域と世界に発信する拠点として2006年に設置され、教育研究及び地域貢献に取り組んでおります。2020年から続いていた新型コロナウイルス感染症によって、FAMSが取り組んでいる種々の研修会等の開催も影響を受けておりましたが、今年は「持続可能な畜産に向けて・・・飼料と動物福祉の問題を考える」と題した全体研修会や、食の安全部門研修会「なにやら便利で使いやすいドロップデジタルPCRって何？」などを開催し、多くの方にご参加いただくことができました。一方、研究面では関係機関の皆様のご協力をいただきながら、JRA畜産振興事業「地域BLV検査センターと感染子牛センターを組み合わせた総合型牛伝染性リンパ腫清浄化モデル開発事業」に引き続き取り組んでおります。

このたび、今年一年間の研究成果を社会に発信するとともに、関係機関との連携を深める機会とすることを目的に、添付のとおり成果発表会ならびにJRA畜産振興事業研修会を開催することとなりました。年度末でご多用のこととは存じますが、多くの皆様にご参加いただき、ご意見・ご助言等賜りますとともに、FAMSに対する理解を深めていただければ幸甚に存じます。

令和6年1月

岩手大学農学部附属動物医学食品安全教育研究センター

センター長 佐藤 至

